

## 2025年度 事業報告

「心をつむぐ あしたを織る」を活動目標として、2021年度から進めてきた中期計画の最終年度である2025年度は、5年間の事業の総まとめを行うとともに、次の新たな5年間の取り組みに向けた助走の年となりました。

2023年度の変更認定により「ものづくり」を事業の主要なテーマとしたことから、公益1～3の事業の充実を図り、新たなものづくり活動の創出や人材育成につとめました。

また、公益2の「チャレンジアジアⅡ」では、ものづくりボランティアの手によって15台の自転車を修復し、カンボジア・プノンペン近郊の学校へ送り届けることができました。

さらに、あすでの「ものづくり」は単なる「ものをつくる」だけではなく、時に美しいハーモニーであったり、生きる喜びや幸せであったりと、そこに心をこめて、手と時間、つまり手間暇をかけてつくるものを指すことから、公益4ではボランティアグループが主体となった慰問活動やチャリティーバザーなどを実施し、旧本館跡地の活用もボランティアと一緒に進めました。

### 公益目的事業

#### (1) 地域の健全な発展を図るための事業

##### 1 地域を笑顔に

###### ア いかす

ものづくりボランティアに対し活動場所や設備の提供などの支援を行うことにより、ものづくりの技を活かした製作活動や体験活動、イベントを開催し、広く県民にもものづくりの魅力を知ってもらうとともに、さらにもものづくりボランティアへの関心を促すために、以下の事業を実施いたしました。

- ・社会の役に立つ製作活動…金KOB Aを活用した活動として、からくりオルゴールの製作を行い、豊田市に寄贈しました。
- ・間伐材有効活用プロジェクト…企業や団体の寄付をもとに、ものづくりボランティアが市内の間伐材を活用してベンチや積み木を年間を通して製作し、豊田市や安城市、刈谷市内のこども園や福祉施設に大人用ベンチ5脚、子ども用ベンチ29脚、コロコロ積み木4台、積み木20箱を寄贈しました。また、からくりグループが、市内小学校やイベントにてからくり製作のワークショップや展示を年間を通して行いました。  
さらに、あすでの設立50周年を記念して2016年に製作した原寸大初代木製カローラを水素で動かす活動を、ものづくりボランティア主体で進め、2026年度の完成を目指しました。
- ・シニアロボコン…11月15日（土）に、シニアのためのロボットコンテストを開催し、公募により8名が参加し熱戦を展開いたしました。
- ・ものづくリンピック…3月20日（金）に、ものづくりグループや企業など10団体ほどが出展して、様々なものづくり体験ができるイベントを開催し、350名の来場者を迎えることができました。

## (2) 国際社会の健全な発展を図るための事業

### 1 世界を笑顔に

#### ア たかめる

ものづくりボランティアが主体となって、日本人と外国人がともに技能・技術を高めあい、製作活動を行うことで、国際相互理解につなげることを目的に、以下の事業を実施いたしました。

- ・チャレンジアジアⅡ…国内で使わなくなった自転車をものづくりボランティアが修復し、経済的理由で通学困難なカンボジアの子どもたちに寄贈するとともに、ものづくりへの興味を抱いてもらうための活動を行いました。12月に15台を完成させ、カンボジアへ輸送し、2月17日にカンダールスタン郡のチェンカエプ小中学校で寄贈式を行いました。

## (3) 未来につながる担い手の育成を図るための事業

### 1 未来を笑顔に

#### ア つたえる

青少年が主体的にものづくりに挑戦する機会を提供するとともに、未来の担い手である青少年の育成を図るための講座やセミナーを以下の通り実施いたしました。

- ・丘KOBAPROJECT…県内の製造業に従事するものづくりボランティアの大人と青少年がともに未来のモビリティを開発・製作する事業「丘KOBAPROJECT」を、豊田市と協働で実施し、2年間の活動を経て4つのチーム「ソーラーカー」「旧車とエコの融合」「救急搬送モビリティ」「近距離イージーモビリティ」がそれぞれのモビリティを完成させました。  
(活動回数：16～17回/年。参加人数：大人 42名 青少年23名 マイスター71名)
- ・未来学校…ものづくりのプロによる青少年を対象とした工具の使い方講座を、10月～3月まで毎月1回開催し、小学3年生～5年生11名、小学6年生～中学3年生6名が学びました。

## (4) 豊かな人間性を涵養するための事業

### 1 現在を笑顔に

#### ア むすぶ

ボランティア同士がつながって、輪を結び、さらにその輪を外に広げていくことで、より豊かな人間性の涵養とボランティア意識の向上につなげていけるよう、ボランティアの交流や慰問などのコーディネートや機会の紹介などの支援を以下の通り実施いたしました。

- ・Collina Naturale…枯れた竹を有効活用する実証実験の場として、旧本館跡地を利用し、枯れた竹のチップによる防草、舗装、豊竹SOIL（竹のチップに微生物を反応させ分解したもの）の製造やそれを使った農作物の栽培などを年間を通して行いました。また、地域の方が身近な自然に触れることのできる観察路の整備も行いました。さらに年間を通し、ボランティアが主体となって太鼓や弦楽演奏などの慰問活動やコンサート、チャリティーバザーなどを開催しました。

## イ ささえる

円滑で活発なボランティア活動を推進するために、ボランティア登録（個人登録料 500 円。毎年更新必要）および活動場所の貸与を以下の通り行いました。

- ・登録…活動のためのグループおよび個人のボランティア登録を行い、38 グループ、339 名が登録しました。
- ・場所貸与…登録されたボランティアに対し、活動に必要なあすでの施設を無償で貸与しました。

## ウ よりそう

ボランティア活動に関する相談・助言を以下の通り行いました。

- ・相談対応…ボランティアを行いたい方や、ボランティア活動の運営に関する相談に対し、年間を通して、あすて事務局が助言をしました。

## エ ひろめる

リーフレット、ホームページ、通信、掲示、集会等を通して、あすでの事業やボランティア活動の周知、啓発を以下の通り行いました。

- ・広報…リーフレットの発行、ホームページの運用、通信「むすび」の発行（夏号、秋号、春号の年 3回）、館内掲示などを行いました。
- ・あすでの日…あすでの設立記念日である12月11日に近い12月13日（土）に、あすてが進めるものづくりボランティアの例として、丘KOB Aプロジェクトの紹介を行い、60名の方に参加いただきました。
- ・60周年記念事業検討…2026年度の設立60周年に向けて、「肩書きをはずしましょう」のダイジェスト版を製作しました。